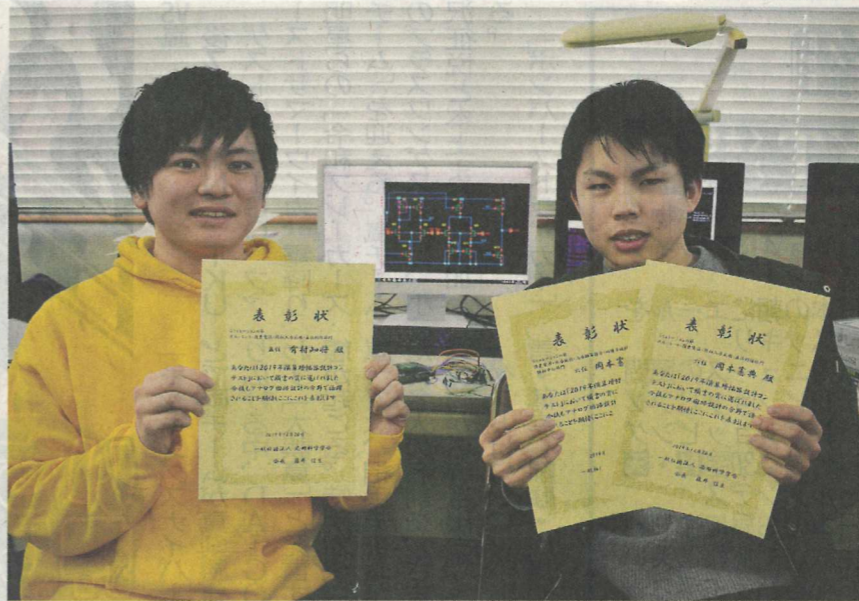


有村さん、岡村さんが入賞

電気信号回路設計コンテスト

励まし切磋琢磨し完成

有明高専



入賞に喜ぶ有村さんと岡本さん (左から)

活用されている。コンテストは応用科学学会が主催し、アナログ回路技術者の育成を目的に毎年開かれている。実際に回路を製作する試作の部と、パソコン上で特性を評価するシミュレーションの部があり、2人はシミュレーションの部に出場した。2人は回路についての授業を受けていたが、設計は初めて。夏休みに入ってから準備を始め、インターン先の企業で学んだことを生かして設計を進めた。時

には10時間以上設計に打ち込み、互いの回路を見て参考にするなど切磋琢磨し完成。増幅度や反応速度などが評価され入賞した。有村さんは「久しぶりに高専からの入賞を果たせて良かった。来年は試作の部にも挑戦したい。連続入賞できるよう後輩たちにも教えていく」と抱負。岡本さんは「来年は2部門に挑戦し、シミュレーション部門では3位以内を目指したい。将来は回路関係の仕事に携わりたいですね」と笑顔で話した。(矢野 大輔)

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校専攻科生産情報システム工学専攻1年の有村知将さん(21)と岡本憲典さん(21)が、2019年演算増幅器設計コンテストで入賞。同校では13年以内の入賞で、大学生や大学院生が出場する中、有村さんが5位、岡本さんが2部門で6位となった。

演算増幅器は小さな電気ナログ回路の基本。身近に信号を増幅する装置で、アあるさまさまな電化製品に